

地域社会への

知の還元

Returning knowledge to the community.

豊かな地域社会をつくるうえで大学への期待が高まりつつあります。大学の構造改革や少子化の進展の中で、やまがたの大学も変わろうとしています。このシンポジウムは、県内の大学が初めて共同し、知的資源を地域に還元することや一層の地域貢献に向けて、互いの連携を深めていくために開催します。

地域の「知」の中心にある大学は、今後どのように地域との関わりを深め、どんな役割を果たしていくのか — 。皆様とともに考えていきます。

>>日時

平成16年1月24日(土)

13:00~16:30 開場 / 12:30

>>会場

ホテルキャッスル 3階「万葉の間」

山形市十日町4丁目2-7 TEL 023-631-3311(代)

プログラム

主催者あいさつ 山形県知事 高橋 和雄

基調講演 13:10~14:10

「知の方向と知の責任

- 大学は何を期待されているか - 」

講師：佐高 信氏

パネルディスカッション 14:25~16:20

テーマ / 社会への知の還元 ~ 実践者の報告

パネリスト /

山形大学教授 柴田晋平氏

東北芸術工科大学助教授 松村 茂氏

県立保健医療大学助教授 平塚朝子氏

東北公益文科大学講師 呉 尚浩氏

コーディネーター /

(株)進研アド「Between」編集長 足立 寛氏

閉会あいさつ 山形大学長 仙道 富士郎



© SPOON 1998

佐高 信氏プロフィール

酒田市生まれ。慶應義塾大学卒業後、郷里の高校教諭を経て、経済情報誌編集長。82年、評論家として独立。現在、東北公益文科大学客員教授も務める。著書に「日本官僚白書」、「さらば会社人間」、「現代を読む」、「青春読書ノート」、「逆白波のひと・土門拳の生涯」等多数。

入場無料 定員250名 どなたでもご参加できます。

パネルディスカッション

P A N E L D I S C U S S I O N



市民が支え・興ず、自然科学

大学とNPOの連携の試み

パネリスト

山形大学理学部教授
柴田 晋平 (しばた しんぺい)

宇宙の高エネルギー現象、X線・ガンマ線の放射の機構を理論的に解明している。NPO法人「小さな天文学者の会」などで、宇宙物理の子ども向け教育・普及活動も行う。



市民活動と商店街の新しい協調

パネリスト

東北芸術工科大学デザイン工学部助教授
松村 茂 (まつむら しげる)

未来デザイン学系で教鞭を執るほか、ここ数年七日町商店街でソフト的まちづくり手法を実験中。今年から地域通貨を発行し、ベンチャー支援などを通じたまちづくりを模索している。



社会のニーズに対応し発展する看護

看護実践能力の育成

パネリスト

県立保健医療大学保健医療学部助教授
平塚 朝子 (ひらつか あさこ)

山形県保健所、県環境保健部医薬務課、県立保健医療短大を経て現職。地域看護分野を専攻し、看護歴史及び地域看護についての研究を推進している。



地域づくりと大学

庄内の環境公益活動の事例から

パネリスト

東北公益文科大学公益学部講師
呉 尚浩 (ご なおひろ)

「多様な主体の協働による自然の循環的利用と保全」が研究テーマ。(庄内では海岸林保全、飛鳥の漂着ゴミ問題と島づくり等)。公益の森づくりの会事務局、飛鳥にて振興計画策定の基礎調査、離島ゴミサミットをNPOと共催。

参加申込方法

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ FAXでお送りいただくか、電話、電子メール、はがき等でお申し込みください。

申込先：〒990-8570 山形市松波2丁目8-1

山形県文化環境部学事振興課内

(大学コンソーシアムやまがた(仮称)設立準備会事務局)

電話：023-630-3052

FAX：023-630-2051

電子メール：gakuji@pref.yamagata.jp

四大学の関係者・学生の方は、所属の大学にお申し込みください。

山形大学総務課

電話：023-630-4005 FAX：023-628-4013

東北芸術工科大学広報課

電話：023-627-2095 FAX：023-627-2185

山形県立保健医療大学総務課

電話：023-686-6611 FAX：023-686-6674

東北公益文科大学総務課

電話：0234-41-1117 FAX：0234-41-1133

コンソーシアムとは、連合、組合と訳され、地域の様々な主体による協力体制を意味しています。四大学と県では、大学等の相互の連携を進める「大学コンソーシアムやまがた(仮称)」の設立をめざしています。



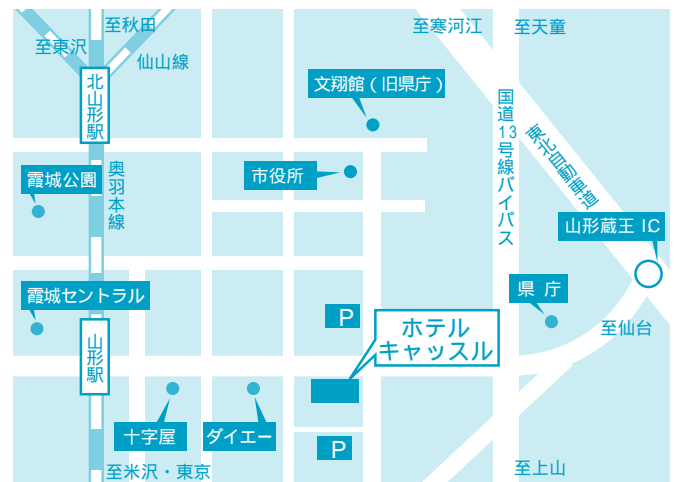
コーディネーター

進研アド大学改革支援室
月刊『Between』編集長

足立 寛 (あだち ひろし)

ベネッセコーポレーションで高校事業を担当した後、現職。執筆・編集の他、大学での講演活動等を数多く行う。

《会場までのアクセス》



参加申込書・・・FAXで申し込まれる時はこの用紙をお使い下さい。

	お名前	ご住所又は所属	電話番号
1			
2			
3			